NIE実践報告

1．タイトル：「点字毎日」を活用した進路学習

2．学校名

千葉県立千葉盲学校

3．実践者名（代表者名）

石毛　一郎

4．学年

高等部第2学年(全盲の点字使用生徒4人)

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　自立活動

6．単元（本時の学習課題）名

視覚障害者の職業について知る

7．目標(狙い)

視覚障害者が自立して生計を営む具体事例を知り、それについて自ら調べること。

8．評価の視点

自分が興味を持った記事(号)を探して読むことができたか。
記事に登場する視覚障害者に手紙を書き、その職業に関する理解を深めることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

単元名「視覚障害者の職業を知る」(計5時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・事前準備
授業者が、「点字毎日」(活字版)の連載記事(毎月最終週号）である「わたしの仕事」(2010年7月現在通算52回目)を、生徒人数分コピーしておく。今後の授業展開について、図書館司書と打ち合わせをしておく。
・1時間目
用意したコピーを配布して、紙面に関する情報(掲載号数、掲載年月日、仕事名、氏名)を、口頭で古い順に伝え、それを生徒は点字でノートする。自分が興味を抱いた仕事を3つ選び、図書館から該当号を借りさせる。コピーは、自宅で家族と目を通すように伝える。
・2時間目
前時に選んだ記事を読み、仕事内容やその人が今の仕事に就くまでの経緯を理解する。
・3時間目
自分が特に興味を抱いた１つの記事について発表する。各自の発表に対してクラス内で質疑応答を行う。
・4時間目～5時間目

11．児童・生徒の反応、感想・意見

生徒は、自分たちと同じ視覚障害者がいきいきと仕事に取り組み、積極的な人生を送っていることに、強い共感をおぼえるようである。

12．成果と課題

「点字毎日」を手に取るようになり、置かれている図書館へも足繁く通うようになった。また、1つの記事に止まらずに、他の職種や別の先輩達の記事にも目を通すようになる。さらには、保護者など家族と一緒に読むようになることの効果も大きい。
健常者(晴眼者)に比べて、非常に限定されてしまう視覚障害者の進路であるが、自己実現を目指した先輩達の様子を知ることにより、その選択肢を少しでも広げる姿勢を養いたい。